

一人口減少時代の市街地再編とその実現手法

立地適正化計画とコンパクトシティ形成

～土地利用規制・都市構造診断の制度・手法の活用と都市マスとの連携～

- 人口減少下の土地利用計画制度の活用とコンパクトシティ形成、都市構造の方向性
- ビッグデータを活用した都市構造の可視化・診断とまちなか居住・移動・滞在の推進
- [埼玉・毛呂山町]「都市マス+立地適正化計画」による拠点連携型都市構造づくりの課題・展望
- [山形・鶴岡市]「都市マス+立地適正化計画」による市街地再編のイノベーションとリノベーション

【講師陣】

- 星 卓志** 氏 / 工学院大学建築学部まちづくり学科教授
- 有村 幹治** 氏 / 室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境系領域准教授
- 酒井 優** 氏 / 毛呂山町まちづくり整備課都市計画係(埼玉)
- 早坂 進** 氏 / 鶴岡市建設部都市計画課長(山形)

日時・会場

2018年2月5日(月)
10:00~16:50
剛堂会館・会議室
(東京都千代田区)

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:30	<p>コンパクトシティ形成をめぐる論点と実現手法の課題 工学院大学建築学部まちづくり学科教授 星 卓志 氏</p> <p>1. コンパクトシティの有効性 2. 全国の都市の市街地密度実態と変化動向の概観 3. 立地適正化計画制度の問題 ～土地利用計画制度との関係からみた「誘導」の意味と実効性～</p> <p>4. 土地利用計画制度の運用上の課題 ～人口減少下における戦略的活用の可能性～ 5. これからの都市構造の方向性についての仮説的対案 【質疑応答】</p> <p><small>【星卓志氏プロフィール】 北海道大学大学院環境科学研究科修了。博士(工学)。札幌市都市計画部長、都心まちづくり推進室長などを経て、2013年4月より現職。専門は都市計画、まちづくり。主な著書に「緑地・公共空間と都市建築」(共著、2006年、丸善)、「人口減少時代における土地利用計画」(共著、2010年、学芸出版社)、「技術者の倫理」(共著、2016年、コロナ社)等</small></p>
11:40 ～ 13:00	<p>コンパクトシティ+ネットワークを導くビッグデータの活用方策—都市構造の可視化 室蘭工業大学大学院工学研究科 くらし環境系領域准教授 有村 幹治 氏</p> <p>1. 問題提起 2. 都市を取り巻くリスク—社会減と自然災害 3. データ×モデル×シミュレーションの可能性 4. まちなかの諸活動と都市構造の可視化と診断—市街地建物用途別滞在・入込人口等の算定事例 5. これからのまちの移動・滞在・居住環境—住まう場所と訪れる場所 【質疑応答】</p> <p><small>【有村幹治氏プロフィール】 平成12年運輸政策研究機構運輸政策研究所(現運輸総合研究所)研究員等を経て、平成22年室蘭工業大学工学研究科助教、平成24年リヨン第二大学交通経済研究所客員研究員、平成25年より現職。専門は交通計画・都市計画・地域計画。北海道都市計画審議会委員、伊達市都市計画審議会会長、室蘭市都市計画マスタープラン見直し及び立地適正化策定協議会委員等を務める。</small></p>
14:00 ～ 15:20	<p>[埼玉・毛呂山町]「都市マス+立地適正化計画=土地利用適正化計画」 ～企業・大学との連携による、拠点連携型都市構造の構築～ 毛呂山町まちづくり整備課 都市計画係 酒井 優 氏</p> <p>1. 毛呂山町が考えるこれからの都市経営 2. 毛呂山町の「強み」と「弱み」 3. 毛呂山町都市計画マスタープランの概要 4. 毛呂山町立地適正化計画の概要 5. 今後の展望と課題、さらにその先の展望 【質疑応答】</p>
15:30 ～ 16:50	<p>[山形・鶴岡市]都市再興基本計画(都市計画マス+立地適正化計画)による市街地再編 ～先端研究産業によるイノベーションとランド・バンクによるリノベーション～ 鶴岡市建設部都市計画課長 早坂 進 氏</p> <p>1. 立地適正化計画の意義と役割 2. 立地適正化計画の特徴 (1) 誘導区域の設定 (2) 立地適正化計画による民間事業支援 3. 立地適正化計画の重点テーマ (1) 先端研究産業によるイノベーション (2) ランド・バンク事業によるリノベーション 【質疑応答】</p>



【空き家・巻2】 空き家起点のまちづくり方策一

空き家(マンション)対策の自治体政策体系化

空き家問題のフロントランナー

□【執筆】**米山 秀隆** / (株)富士通総研経済研究所上席主任研究員

■体 裁：A4判／178頁
 ■発 刊：2015年2月20日
 ■定 価：5,022円(税・送料込)
 (本体4,650円)
 ■研修会参加者特価：4,600円

【本書を推薦します】

辻山 幸宣／(財)地方自治総合研究所所長
 出石 稔／関東学院大学副学長
 田口 一博／新潟県立大学
 国際地域学部国際地域学科准教授

第1章 空き家(マンション)の現状と課題
 ～「2013年住宅・土地統計調査」をどう読むか～
 はじめに／空き家の現状と将来展望／空き家の実態
 ／マンションの空き家の現状／空き家がもたらす問題

第3章 空き家対策②一利活用促進策と老朽マンション対策
 空き家バンク／空き家の流動化のネックとその解消法／空き家利活用のインセンティブ
 ／空き家を活用した定住支援への取り組み／空き家の公的活用／空き家関連ビジネス
 ／空き家の多様な活用法と住宅弱者対策／老朽化マンション対策

第2章 空き家対策①一撤去促進策と空家等対策特措法
 空き家対策の類型と取り組み状況／空き家の撤去促進策／空家等対策特別措置法
 ／固定資産税に関するもう一つの視点

第4章 「空き家」問題から今後の住宅・都市政策を展望する
 これからの住宅・都市政策／コンパクトシティ政策の事例／公共施設集約の進め方
 ／所有者不明の空き家の処分

第5章 [資料] 空き家対策の自治体政策構築に向けて
 老朽空き家の撤去促進ツール／空き家利活用まちづくりと老朽化マンション対策
 ／コンパクトシティ政策と公益施設の集約化



【新刊(空き家・巻4)】 「街」の価値劣化を防ぐ空き家施策一空家法活用の処方箋

空家法施行と自治体空き家対策

【編集(執筆)】 北村 喜宣 / 上智大学法科大学院教授 西尾 浩 / 兵庫・明石市職員
 【執 筆】 町田 陵 / 東京・青梅市生活安全部住宅課 (元・都市整備部建築室建築安全課監察係主任)
 須藤 純 / 群馬・前橋市総務部秘書課 (元・建設部建築住宅課)

■体 裁：A4判／188頁
 ■発 刊：2017年9月4日
 ■定 価：5,346円(税・送料込)
 (本体4,950円)
 ■研修会参加者特価：4,900円

【本書を推薦します】

出石 稔 関東学院大学副学長・法学部教授

【第1章】空家法の法的論点と法施行上の課題・対応 上智大学 北村 喜宣

【第2章】実践報告一空家法施行と自治体の空き家対策

第1節 空家法施行における法的論点
 押し寄せる苦情と自治体現場／使えない法律、使わない担当課／条例による制度化といくつかの論点
 空家法(空家等対策推進特別措置法)の概要と特徴／空家法の制度設計の発想と問題点／
 始まった自治体の空家法への対応／空家法実施にあたっての論点／空家法実施上の法的な論点

第1節 [東京・青梅市] 青梅市の空き家実態調査 青梅市 町田 陵
 青梅市の現状／空き家実態調査の目的と手法／二次調査／実態調査から見てきた課題／
 青梅市の空き家対策とその推進／＜Q&A＞ 空き家実態調査の方法

第2節 空家法実施の現状といくつかの法的論点・対応
 自治体が先導した空き家施策／空家等対策推進特別措置法の概要と特徴／始まった自治体の対応
 空家法を条例に取り込む方法／実施における法的論点＜Q&A＞ 相続財産管理制度、特定空家等の
 認定等について

第2節 [群馬・前橋市] 前橋市の空き家対策 前橋市 須藤 純
 前橋市の現状と空き家の実態／前橋市の空き家対策／特定空家等対策の推進の実例／
 前橋市空家等対策計画／空家等対策の基本的施策／空き家実態調査の実施

第3節 [資料] 空家特措法及び法制定後の自治体空き家条例集 (15例)

第3節 [兵庫・明石市] 空家特措法に基づく行政代執行(略式代執行)による空き家の除却
 明石市の現状と空き家条例の制定／明石市の行政代執行(略式代執行)の実施／
 今後の課題／＜Q&A＞ 略式代執行の実施実務とその後 明石市 西尾 浩



【交通計画集・2】 都心空洞化対策と交通まちづくり

中心市街地の再生と交通計画

【編集委員】 太田 勝敏／東京大学工学部教授 高田 邦道／日本大学理工学部教授
 岡 並木／評論家(比較都市論) 【監修】 山本雄二郎／高千穂商科大学教授

■体 裁：A4判／205頁
 ■発 刊：1997年4月17日
 ■定 価：10,275円(税・送料込)
 (本体9,514円)
 ■研修会参加者特価：9,000円

第1章 中心市街地の交通計画一新たな取組み
 1. 中心市街地活性化と交通計画 岡 並木
 2. 駅周辺の交通計画とまちづくり 横浜国立大学 中村 文彦
 3. 鉄道高架化の役割と効果 山本 雄二郎
 4. [福井市]トランジットモールによる中心市街地再生への取り組み 福井大学 本多 義明
 5. 交通セルシステムの可能性 日建設計 上野 和彦
 6. まちづくり事業を取り込んだ地区計画制度の活用 都市環境研究所 小出 和郎

第2章 中心市街地の空洞化対策と活力創造のケーススタディ

1. 中心市街地活性化の政策立案に向けた課題と方向 埼玉大学 窪田 陽一
2. パワーセンター等の商業環境の変化に伴う都心商業の未来像 社会計画研究所 加藤 廣
3. 都心居住と都市・交通計画 福島大学 鈴木 浩
4. [伊勢・おはらい町]内宮前町の再開発と楽しく歩ける町並み整備
5. [仙台・荒町]人々が集い憩える空間形成と商店街の復興
6. [静岡・呉服町] 楽しく歩ける街を求めて
7. [熊本・子飼地区] 「食」を核とした楽しめる商店街づくりをめざして

【研修会の参加要領】

■日 時：2018年2月5日(月) 10:00～16:50
 ■会 場：剛堂会館会議室(案内図は申込後送付)
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 ■申込方法：下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX・メール等)。
 ■申込先： 地域科学研究会

■参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	25,000円
一般	35,000円	35,000円

※有村氏(室蘭工業大学)のご講演はメディアCDには収録されません。
 ※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替)
 ・現金書留・当日払い
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替:00110-8-81660

口座名: 地域科学研究会

【申込書 年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『立地適正化計画とコンパクトシティ形成』: □当日参加 □メディア参加
 ■出版物の購入 □空き家・巻2『空き家対策の自治体政策体系化』 _____ 冊 □『中心市街地の再生と交通計画』 _____ 冊
 □空き家・巻4『空家法施行と自治体空き家対策』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地〒 _____ 連絡担当者 _____
 TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ (通信欄) ○をつけてください
 ・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
 ・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付, 連絡, 請求, 案内等)のみに使用させていただきます。 請求書等宛名: _____